活用現場レポート

㈱ときつ養蜂園

山口県山口市　養蜂（蜂蜜）

山口県山口市の自然豊かな里山で養蜂業を営まれているときつ養蜂園様。
農薬を使用しないことをモットーに、愛情をたっぷり注いでミツバチを育てています。純度が高く濃密な花香の「郷のはちみつ」は全国で大人気。
今号では、ときつ養蜂園様におけるFFC活用とその効果について取材させていただきました。



“郷（さと）のはちみつ”


代表取締役
時津　佳徳様

代表者のお話

10年前に自分が病気になり、健康な食事やFFCウォーターを身体に取り入れることを意識するようになりました。ときつ養蜂園を起業した際には、お越しいただく皆様に健康になっていただきたいとの想いから、1年目からＦＦＣを活用し、2年目からはオーガニック養蜂を実践しております。今では自信を持って提供できる蜂蜜を作ることができるようになりました。

自然環境を身近に感じることができる仕事だからこそ、ミツバチと寄り添いながら、自然環境を守り、これからもミツバチの生命をつないでいきたいと考えております。

● ときつ養蜂園について



㈱ときつ養蜂園
山口県山口市仁保下郷561-1
TEL：083-929-1688

HP



いろいろなお花の蜂蜜、ハニーカヌレや蜂蜜プリンなどを直売所で販売しています。



蜂蜜ジェラートや蜂蜜カレーを提供するキッチンカー。

FFC活用歴 6年



● FFCの活用方法①

ミツバチの住む環境を整える


自然豊かな里山を選び、
蜜源近くの囲場9カ所に巣箱を設置。



巣箱に通常使用される防腐剤は不使用。全て㈱ウッドサークル社のFFC免疫加工処理を行っています。



巣箱の洗浄にはFFCウォーターを使用。洗浄後はパイロゲン希釈液を撒布。さらにバーナーであぶり、フソ菌などの芽胞菌を死滅させます。





巣箱の周囲や山の中のミツバチの水場を特定し、周辺に年2~3回ほどFFCエースを5袋撒布しています。



小規模の“養成群”が、蜜が採れる規模の“採蜜群”になるよう1年掛けて育てます。ミツバチを増やすために週に一度パイロゲン約100倍希釈液を噴霧します。

● FFCの活用方法②

穏やかなミツバチを育てる飼育方法





花粉が少なくなる冬場、巣箱に餌として投入する花粉パテや砂糖水にもパイロゲン原液を混合しています。



水をたくさん飲むミツバチをFFC化するために、与える水の全てをFFCウォーターにするなど、園内全体でFFCを活用。

蜂蜜を絞ったあと、パイロゲン約100倍希釈液を噴霧。
蜜箱についたパイロゲンをミツバチが飲み元気になります。

● FFC活用の効果

ミツバチが穏やかでおとなしい



FFCで育ったミツバチはほとんど人を刺すことがなく、素手で管理することができています。

まろやかで上品な蜂蜜



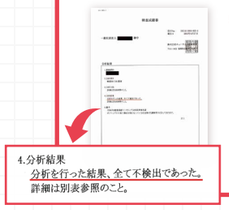
FFCウォーターをふんだんに飲んだミツバチが作る蜂蜜は後味が良く、花の風味が豊かで、上品なコクとまろやかな舌触りが特徴です。

薬剤不使用



ＦＦＣウォーターを与えることでミツバチ自体が元気になり、抗生物質やホルモン剤、薬品等に頼らない飼育が可能になりました。

残留農薬が検出されない蜂蜜


4.分析結果
分析を行った結果、全て不検出であった。
詳細は別表参照のこと。

安全・安心の理由

田んぼに農薬を散布する時期には、近くの巣箱を手作業で移動させ、ミツバチを薬害から守ります。その結果、採取した蜂蜜からは残留農薬が検出されていません。

YouTube動画　**マイケルトーク**

ときつ養蜂園 × マイケル・J・ライス

ときつ養蜂園様の詳しいミツバチ飼育方法などについてはこちらの動画をご覧ください！

動画はこちら



※FFCパイロゲンは清涼飲料水ですが、ご本人の経験により生産工程で活用されています。　※掲載内容に関するご質問は㈱エフエフシー・ジャパンまでお願いいたします。

発行元：株式会社 エフエフシー・ジャパン　〒514-2293　三重県津市高野尾町1868番地の3　TEL：059-230-3595　https://www.ffc-japan.co.jp